

立命館大学ジェンダーフォーラム

書評セッション

平山亮「迫りくる「息子介護」の時代」(光文社新書、2014年)

(上野千鶴子推薦・解説)

日 時 : 2014年7月4日(金) 18:30~20:30 (終了後情報交歓会開催予定)

場 所 : 立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館 第3会議室

【企画趣旨】

「息子介護」って「息子を介護すること」?とよく誤解されるそう。いえいえ、そうではありません、息子による親の介護、のことです。

現在家族介護者の3人に1人は男性、そのなかでも息子による介護が徐々に増えています。ただでさえ困難な家族介護が息子に担われるとなると、ましてや困難が想像されます。著者は28人の当事者にインタビューして実態を明らかにします。この男性たちは高齢者虐待予備軍ともみなされています。追い詰められる前に当事者同士、互いにグチをこぼしたり、助けあえばよさそうなものなのに、息子介護者がいちばん会いたくないのは自分と同じ立場にいる者たちだとか。その謎に著者は迫ります。

上野千鶴子の帯にこうあります。「気鋭の社会心理学者が介護からあぶり出す『男という困難』。解説のタイトルは「もうひとつの『男性学』」です。

著者紹介:東京都健康長寿医療センター研究所、日本学術振興会特別研究員。1979年生、専門は社会老年学、社会心理学。東京大学大学院修士課程を経てオレゴン州立大学大学院博士課程修了、博士(学術)。

コメンテーター:

谷村ひとみ

(立命館大学大学院先端総合学術研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員・研究テーマは「シングルマザーの老後」)

泉谷瞬

(立命館大学大学院文学研究科博士課程・研究テーマは「日本近現代文学における結婚表象について」)

司 会 : 上野千鶴子 (立命館大学特別招聘教授)

主催 : 2014年度国際言語文化研究所・研究所重点研究プロジェクト「ジェンダー研究会」

共催 : 立命館大学生存学研究センター

連絡先 : 立命館大学国際言語文化研究所 TEL: 075-465-8164/FAX: 075-465-8245

E-mail: genbun@st.ritsumei.ac.jp 参加無料 事前申込不要

駐車スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。